

平成24年度内閣府青年国際交流事業 日本参加青年募集！



内閣府 国際交流

検索



世界とつながろう。未来を広げよう。

内閣府が行う青年国際交流事業は、日本と世界各国の青年の交流を通して、相互理解と友好を深め、広い国際的視野と国際協調の精神を養う機会を提供しています。これにより、国際化の進む社会の各分野で活躍できる青年の育成を目指しています。

事業内容／応募資格 ※事業内容や応募方法の詳細については、「事業概要及び応募要領」をご覧ください。(http://www.cao.go.jp/koryu)

平成24年度の内閣府青年国際交流事業の概要

1 国際青年育成交流

ドミニカ共和国、ヨルダン、ラオス、ラトビアの各国にそれぞれ10人の日本青年を18日間派遣します。訪問国では、現地青年との双方の社会事情に関するディスカッション、日本文化の紹介、国際協力活動の体験、教育・環境・文化等の課題別の視察、ホームステイなどを行います。



2 日本・中国 青年親善交流

中国に25人の日本青年を15日間派遣します。中国では、現地青年との双方の社会事情に関するディスカッション、文化・スポーツ交流、教育・文化・福祉・産業等の各種施設の訪問、ホームステイなどを行います。



3 日本・韓国 青年親善交流

韓国に25人の日本青年を15日間派遣します。韓国では、現地青年との双方の社会事情に関するディスカッション、文化・スポーツ交流、教育・文化・福祉・産業等の各種施設の訪問、ホームステイなどを行います。



4 世界青年の船

日本青年約110人と外国青年約100人が、19日間、船内で共同生活を行うとともに、日本国内3ヶ所に寄港し、現地で視察や交流を行います。船内では、環境、教育等のテーマについての英語によるディスカッションをメインのプログラムとするほか、各国の社会事情の紹介、文化・スポーツ交流などを行います。また、日本青年は航海終了後、航空機により8日間、バーレーン、メキシコ、ニュージーランド、スリランカ又はトルコを訪問します。(訪問国は船内でのディスカッションのテーマに応じて決定します。) 訪問国では、その国の青年たちとの交流、ホームステイ、各種施設の訪問などを行います。

5 東南アジア青年の船

日本青年約40人とASEAN10か国の青年約280人が、52日間、日本国内・船内・寄港地(ブルネイ、インドネシア、フィリピン、シンガポール、タイ)で共同生活をしながら、様々な交流活動を行います。船内では、異文化理解、環境、教育等のテーマについての英語によるディスカッションをメインのプログラムとするほか、各国の社会事情の紹介、文化・スポーツ交流などを行います。訪問国では、その国の青年たちとの交流、ホームステイ、各種施設の訪問などを行います。



6 青年社会活動コアリーダー育成プログラム

高齢者関連、障害者関連、青少年関連分野の社会活動に携わる日本青年(各分野8人)を、イギリス(高齢者)、デンマーク(障害者)、ドイツ(青少年)の各国に10日間派遣し、各分野の社会活動で中心的担い手となる人材を育成します。訪問国では、関係機関や施設等の訪問、派遣分野の背景事情や社会活動に関する先進的な取組みを学ぶほか、ホームステイ等による交流を行います。

事業名	国際青年育成交流	日本・中国 青年親善交流	日本・韓国 青年親善交流	世界青年の船	東南アジア青年の船	青年社会活動 コアリーダー 育成プログラム
訪問国	ドミニカ共和国 ヨルダン ラオス ラトビア	中国	韓国	バーレーン メキシコ ニュージーランド スリランカ トルコ [船の国内運航後、航空機で1か国を訪問]	ブルネイ、インドネシア、フィリピン、 シンガポール、タイ [ASEAN10か国の青年約280人と共に船内 などで共同生活をしながら各国を訪問]	イギリス(高齢者関連活動) デンマーク(障害者関連活動) ドイツ(青少年関連活動)
実施時期(期間)	9月9日～9月26日 18日間	9月12日～9月26日 15日間		平成25年2月4日～3月1日 運航19日間、航空機派遣8日間	11月2日～12月14日 52日間(国内プログラム9日含む)	10月7日～10月16日 10日間
募集人員	各国 10人	各国 25人		約110人	39人	各国 8人
国籍	日本国籍を有すること					
年齢 (平成24年 4月1日時点)	18歳～30歳(昭和56年4月2日～平成6年4月1日生まれ)					23歳～40歳 (昭和46年4月2日～平成元年4月1日生まれ)
事後活動	帰国後も事後活動組織に入会し、国際交流活動、青少年活動等の社会活動を活発に行うことができる者					
語学力 など	交流活動を円滑に行える英語力を有すること	訪問国の公用語による簡単な日常会話能力があれば望ましい		交流活動を円滑に行える英語力を有すること		高齢者関連、障害者関連又は青少年関連の社会活動経験を原則3年以上有すること(英語による簡単な日常会話能力があれば望ましい)
その他	内閣府(又は旧総務庁)の行う同種の事業に参加したことのある者は応募できません。					
事前研修	7月2日～7月8日		9月15日～9月20日		7月28日～8月2日	6月22日～6月24日
出発前	9月7日～9月8日		9月10日～9月11日		平成25年1月26日～2月3日 *3	10月20日～10月24日
帰国後	9月26日～9月29日		平成25年3月1日～3月3日		12月14日～12月15日	10月16日～10月17日
参加費	10万円程度	6万円程度		21万円程度	23万円程度	8万円程度
事後活動組織 入会金	研修費用の一部、渡航手続費用及び船内供食費(船事業のみ)など。 3万円					
応募窓口	各都道府県の青年国際交流主管課(室)または全国的組織を持つ青少年団体等 [参加申込書、作文等を提出していただきます。]					
募集期間	おおむね2月～3月中の予定(各都道府県を窓口とする募集の期間については、裏表紙の都道府県連絡先一覧を参照してください。)					

*1 事前研修は、最終選考を兼ねます。
*2 その他、選考にかかる費用や事前研修参加時の上京・帰郷旅費、予防接種料なども参加青年本人の負担となります。
*3 「世界青年の船」事業の出発前の研修については、1月28日から、外国参加青年と合流して行います。訪問国、日程等については、諸事情により変更になることがあります。

応募から事業参加までの流れ

応募

各都道府県の青年国際交流主管課(室)及び全国的組織を持つ青少年団体等で参加申込を受け付けています。応募に当たっては、参加申込書、作文等の提出が必要となります。(各都道府県の窓口と募集期間については、裏表紙を参照してください。)

選考

参加青年は、各都道府県等の中間選考を経て内閣府に推薦のあった候補者の中から、内閣府(東京)において第2次選考及び最終選考(事前研修)を経て決定します。(各都道府県の中間選考日(予定)については、裏表紙を参照してください。)

事業参加

帰国後の活動

各事業に参加した後は、日本青年国際交流機構(内閣府の青年国際交流事業に参加した青年等が自主的に組織している事後活動組織)に入会して、そのネットワークをいっしょにしながら様々な形で活動することが基本となります。

手に入れたのは生涯忘れられない経験と未来を切り拓く勇氣



平成15年度
「国際青年育成交流事業」(第10回)
トルコ派遣団員

千葉大学医学部医学科在籍

宮地 秀明

20歳、大学3年生の春に、私は内閣府の青年国際交流事業に出会った。大学内の掲示を見て早速足を運んだ説明会では、前年度の参加青年がいきいきとした表情で自分たちの経験を話してくれた。その後、すぐに応募を決意したことが思い出される。

この事業の醍醐味は、同年代の青年との濃密な交流にある。彼らとの真剣なディスカッションを通じて、異なる価値観について尊重し合うことを学び、コミュニケーション能力や国際感覚が養われる。異文化の中で自らを見つめ直す過程では、母国の良さに気付くことも多い。また、生涯忘れられない経験を共有することで、大切な友情が芽生える。こうしたことの一つ一つが、今の私の大きな財産になっている。

派遣から8年以上の月日が経ち、応募書類を読み返してみた。当時は工学系の専門をいかにした研究者として、地球規模の環境・エネルギー問題の解決に貢献したいという思いを持っていた。しかしながら、私は研究者となる進路を変更し、医学部へ編入する道を選んだ。事業への参加や事後の活動を通じて、人と直接触れ合うことのできる仕事に魅力を感じたことが一つの大きなきっかけになった。この進路変更を選択する際には不安や迷いも大きかったが、事業で出会った友人たちがかけてくれた応援の言葉や、彼ら自身が自由な発想で信じる道を精一杯生きている姿が、私の選択を後押ししてくれた。

私は、いつか友人たちと共に世界の人々に貢献できる医師・医学者となることを夢見ながら、まずは病気に苦しむ身近な患者1人1人を救うことのできる医師を目指している。医師としての確かな力を得てから、国際社会で活躍する仲間とも協力し、夢の実現に向けて、世界に羽ばたいていきたい。この事業への参加がその大きな一歩になっていることは確かである。私のような人生設計をする者にも未来を切り拓く勇氣を与えてくれる懐の深さが、内閣府の青年国際交流事業にはあると思う。

「生涯忘れられない経験と未来を切り拓く勇氣」、皆さんも手に入れてみませんか。

ターニングポイント～表面的でない真の国際交流がしたいあなたへ



平成13年度・21年度
「東南アジア青年の船」事業(第28・36回)
日本参加青年

チョコレート専門店「Dari K(ダリケ)」(京都)経営者
(金融アナリストから転身)

吉野 慶一

外国人と英語で会話して友達になる。これも立派な国際交流ですが、「東南アジア青年の船」事業では、これは序章に過ぎません。約50日間、ASEAN各国の仲間たちと船上及び各寄港地で寝食を共にしながらホームステイやディスカッション、文化紹介、課題別視察というプログラムを体験するこの事業。そこには本やインターネットでは分からない情報、文字でなく語り合うことで理解する同世代の若者の熱い想い、未来と一緒に語り合う空間があります。

この事業に参加する前に働いていた金融業界から見る ASEAN は、まさに成長著しい市場でした。そこに生きる若者とアジアの将来を語りたい、そんな期待を胸に私はこの事業に参加しました。とはいえ、ASEANと一括りにしてもそこは人種や宗教、文化など実に多様な10か国。決められたディスカッションの時間が終わっても、尽きることのない議論。自国の問題、他国の課題、自分の考え、彼らの想い。そこで求められるのは単に語学力や知識にとどまらない、積極性と行動力でした。

学生時代から留学をしたり、世界50か国以上を歩き回ったりと国際交流には慣れていたつもりが、この事業に参加すると毎日が新しい発見と驚きの連続。各国の現状や課題を言い合うだけでなく、それを改善・解決するために私たちに何ができるか、そして何をすべきか。具体的なアクション・プランまで語り合える仲間と出会ったことで、私は新たな一歩を踏み出す決断をしました。それは、知られざる世界第3位のカカオ産出国であるインドネシアと日本をつなぐこと。これまでのキャリアとかけ離れたことではありますが、本当に人生を賭けてもいいと思えたことを見つけた瞬間でもありました。

同期である ASEAN 各国の参加青年はもちろん、参加年度が異なれど、この国際交流事業に参加したというだけで歴代の参加者が世界各国から応援してくれる現在。この事業は確かに私の人生のターニングポイントになりました。そしてそれは私だけでなく、多くの参加青年にとってそうであると確信しています。ありきたりの国際交流では飽き足りないあなたへ、東南アジアの今を五感で感じ、各国の仲間と未来と一緒に拓きませんか？

都道府県連絡先一覧

※ 募集期間及び中間選考日は予定です。また、都道府県への応募は、原則として、応募時点の住民票住所の属する都道府県青年国際交流主管課(室)を窓口としていますが、都道府県により取り扱いに違いがありますので、詳しくは、下記の各都道府県青年国際交流主管課(室)までお問い合わせください。

都道府県	主管課等名	電話番号 (内線)*直通	募集期間	中間選考日	都道府県	主管課等名	電話番号 *直通	募集期間	中間選考日
北海道	総合政策部知事室国際課	011-231-4111 内21-228	2/10~3/23	必着 書類選考	滋賀県	健康福祉部子ども・青少年局	077-528-3557 *	2/1~3/23	必着 4/15
青森県	環境生活部青少年・男女共同参画課	017-734-9226 *	2/1~3/21	必着 4/14	京都府	府民生活部青少年課	075-414-4302 *	2/10~3/16	必着 4/5
岩手県	環境生活部青少年・男女共同参画課	019-629-5346 *	2/6~3/23	必着 4/8	大阪府	政策企画部青少年・地域安全室青少年課	06-6941-7681 *	2/1~3/16	必着 4/8~13/25 いずれかの日
宮城県	環境生活部共同参画社会推進課	022-211-2577 *	2/2~3/30	必着 4/13	兵庫県	企画県民部県民文化局青少年課	078-382-3143 *	2/1~3/22	必着 4/7
秋田県	企画振興部学術国際局国際課	018-860-1219 *	2/13~3/23	消印有効 4/13	奈良県	くらし創造部青少年・生涯学習課	0742-27-8615 *	2/10~3/30	必着 書類選考
山形県	子育て推進部青少年・男女共同参画課	023-630-2101 *	2/15~3/30	必着 書類選考	和歌山県	環境生活部県民局青少年・男女共同参画課	073-441-2500 *	2/1~3/26	必着 4/7
福島県	生活環境部人権男女共生課青少年育成室	024-521-7187 *	2/8~3/28	必着 4/8	鳥取県	文化観光局交流推進課	0857-26-7030 *	2/3~3/16	必着 書類選考
茨城県	知事公室女性青少年課	029-301-2183 *	2/1~3/8	必着 3/18	島根県	環境生活部文化国際課	0852-22-6469 *	2/1~3/23	消印有効 書類選考
栃木県	県民生活部青少年男女共同参画課	028-623-3076 *	2/1~3/23	消印有効 書類選考	岡山県	県民生活部男女共同参画青少年課	086-226-0557 *	2/13~3/30	必着 書類選考
群馬県	生活文化部少子化対策・青少年課	027-226-2393 *	2/8~3/26	必着 4/10	広島県	環境県民局県民活動課	082-513-2740 *	2/1~3/19	消印有効 4/8~11/25 いずれかの日
埼玉県	県民生活部青少年課	048-830-2907 *	2/1~3/21	必着 書類選考	山口県	地域振興部観光交流局国際課	083-933-2343 *	2/1~3/30	必着 4/13
千葉県	環境生活部県民生活課	043-223-2291 *	2/6~3/23	必着 書類選考	徳島県	県民環境部男女参画青少年課	089-621-2176 *	2/1~3/26	必着 4/7又は4/8
東京都	教育庁地域教育支援部生涯学習課	03-5320-8859 *	2/1~3/2	消印有効 書類選考	香川県	総務部県民活動・男女共同参画課	087-832-3195 *	2/6~3/16	消印有効 4/8~11/25 いずれかの日
神奈川県	県立青少年センター指導者育成課	045-263-4466 *	2/10~3/18	必着 書類選考	愛媛県	県民環境部管理局県民活動推進課	089-912-2415 *	2/13~3/23	消印有効 4/16~4/17
山梨県	教育庁社会教育課	055-223-1356 *	2/6~3/16	必着 4/7	高知県	文化生活部文化・国際課	088-823-9805 *	2/1~3/23	消印有効 4/11~11/25 いずれかの日
新潟県	福祉保健部児童家庭課	025-280-5214 *	2/6~3/16	必着 4/4	福岡県	新社会推進部青少年課	092-643-3386 *	2/15~3/19	必着 4/1
富山県	厚生部児童青年家庭課	076-444-3136 *	2/13~3/21	必着 4/15	佐賀県	くらし環境本部子ども未来課	0952-25-7350 *	2/1~3/23	消印有効 4/8
石川県	観光交流局国際交流課	076-225-1382 *	2/1~3/16	必着 4/7	長崎県	教育庁生涯学習課	095-894-3365 *	2/6~3/23	必着 4/9~4/13
福井県	安全環境部県民安全課	0776-20-0745 *	2/15~3/30	必着 4/8	熊本県	環境生活部県民生活局くらしの安全推進課	096-333-2294 *	2/6~3/23	必着 4/11
長野県	企画部次世代サポート課	026-235-7210 *	2/6~3/21	消印有効 書類選考	大分県	生活環境部私学振興・青少年課	097-506-3076 *	2/13~3/23	消印有効 4/14
岐阜県	環境生活部男女参画青少年課	058-272-8238 *	2/8~3/21	必着 4/12	宮崎県	県民政策部文化文教・国際課	0985-26-7029 *	2/3~3/23	必着 4/13
静岡県	教育委員会事務局社会教育課	054-221-3312 *	2/6~3/12	必着 3/24	鹿児島県	県民生活局青少年男女共同参画課	099-286-2557 *	2/1~3/23	必着 書類選考
愛知県	県民生活部社会活動推進課	052-954-6175 *	2/6~3/26	消印有効 書類選考	沖縄県	福祉保健部青少年・児童家庭課	098-866-2174 *	2/1~3/30	必着 4/4~4/10
三重県	健康福祉部子ども局子ども未来室	059-224-2404 *	2/7~3/19	消印有効 4/7					

内閣府子ども若者・子育て施策総合推進室 青年国際交流担当

〒100-8970 東京都千代田区霞が関3-1-1
電話(03)3581-1181(月~金 9:30~18:15)

<http://www.cao.go.jp/koryu/>